

クラブ発足10周年を迎えて

早いもので、2014年中津卓球ジム創設と同時に発足した「宇土クラブ」は今年3月に10年の節目を迎えました。

10周年を迎えられたのも、ひとえに本日ご出席の皆様をはじめとして、たくさんのお客様の方々にご支援をいただいたからにはほかなりません。

中津卓球ジムの創設したきっかけは、当時中津市に卓球場がなかったことから、「いつでもだれでも気軽に」卓球を楽しめる場を設けたいという思いからでした。

「小学生宇土クラブ」は創設と同時に発足しましたが、当初は気軽に5、6人の子どもを見て、そのうち1人くらい全国大会に出場するようなことがあればそれでいいくらいに思っていました。しかし現実はそのわけにはいきませんでした。クラブのスタートと同時に、目の前の子どもたちを何とかしたいという思いがふつふつと湧いてきて、その結果日々格闘する羽目となりました。

子どもたちほぼ全員が初心者でもあり、自分の指導の未熟さもあってなかなか思うように力をつけられないことから、苛立ちを感じながらの日々を過ごしました。毎日毎日卓球で苦しむ夢を見る始末でした。

そんな苦しい日々を救ってくれたのは、一緒に練習を手伝っていただき、いろいろな面でサポートしてくださった子どもたちの保護者の方たちであり、そしてクラブの一般の方たちでした。そのおかげがあって今の宇土クラブがあると思っています。

またその後のコーチの加入は、指導体制がより充実したものとなり、クラブにとって大きな成長につながったと自負しています。

中津卓球ジムの特徴的な一面として、年配者の方たちの活動があります。「夢クラブ」や「フェニックスクラブ」そのほか卓球愛好者の方たち、多くの方が毎日のように訪れては元気いっぱい、和気あいの練習を楽しんでいる姿があります。ジュニア育成とは違った側面があります。中津卓球ジムの「いつでも、だれでも、気軽に」という当初の願いが実りつつあると感じています。

こうして10年の節目を迎えた今、スタッフ一同新たな希望をもって一歩ずつ踏み出していきたいと考えています。中津卓球ジムの活動が子どもたちの自己実現のサポート、ひいては卓球界への貢献につながるジュニア育成、そして卓球を愛する方たちのいこいの場として、また競技のレベルアップをめざす場としての一助になれば大変ありがたいと思っています。

今後とも皆様の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

宇土クラブ代表 宇土省三